



医療連携だより

医療連携・相談室 活動報告

地域連携会議

医療連携・相談室では、毎年度3回、置賜保健所ならびに置賜地域の各地域包括支援センターの御担当者様に御参加いただき、地域連携会議を開催しております。



<令和7年度>

第1回…7月29日（地域連携に関する報告・意見交換）

第2回…11月6日（事例検討:当院入院中に川西町地域包括支援センター様に介入いただいた事例）

第3回…2月19日（当院作業療法士による講演 題目:高齢者に対する介護予防のためのリハビリテーション）

会議を通じて、互いの役割を再確認できるほか、施設間の顔の見える関係の構築、情報交換等も行っております。

地域包括支援センターの皆様には、今後とも連携を強化する機会として、地域連携会議を御活用いただければ幸いです。

<令和7年度実績>

【救急に関すること】

小児の救急対応、救急対応関連、緊急時の対応・病院から見て必要な情報

【食事に関すること】

高齢者の糖尿病について～栄養管理(間食)とフットケア～

シニア世代の食事のポイント、誤嚥性肺炎について

【感染に関すること】

標準予防策と介護施設におけるBCP

感染症対応について、感染予防、感染症について(専門職・地域住民両方の実績あり)

【アドバンスド・ケア・プランニング(ACP)に関すること】

ACP(もしばなゲーム)、ACPについて

【その他】

MCIと認知症～医療機関に繋げるためには～、熱中症の予防と発生時の対応

腰痛予防、座ってできる体操、骨粗鬆症に対する知識の共有とFLSの意義について

転倒・転落・服薬に係るリスクマネジメント



出前講座

当院は地域医療支援病院として、地域の医療福祉事業所職員、住民の皆様に向けて出前講座の活動を行っております。

職場、地域の研修等で当院スタッフからの講習を検討の際は、下記担当まで御相談ください。

【問合せ】

公立置賜総合病院

医療連携・相談室 出前講座担当

Tel:0238-46-5000

詳細は **置賜総合病院 出前講座** と検索ください。

令和7年度公立置賜総合病院登録医総会

((兼)第2回 公立置賜総合病院医療連携推進協議会)

令和7年12月2日(火) 18:30～ 於：ハレ晴れ(南陽市宮内)

毎年恒例の公立置賜総合病院登録医総会を開催しました。昨年に続き、院外25名、院内11名と多くの医師、歯科医師の皆様にご出席いただきました。

当院登録医の先生方におかれましては、日頃より当院と紹介、逆紹介をはじめ多くの連携にご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

会議



当院の医師紹介や
紹介・逆紹介に関する
意見交換を行いました

懇親会



お酒も交わしつつ、
盛況の会となりました



-特別公演- 「新しい糖尿病治療薬(GLP-1、GLP-1/GIP)について」

診療部内科(代謝・内分泌)科長 石井 康大 先生



糖尿病治療薬について、日々の診療での経験を交えつつ御講演いただきました。

御参加の先生からも多くの質問を頂戴し、誠にありがとうございました。

以下に、質問の一部を掲載しております。

1. 歯科との連携・副作用について (DPP-4 阻害薬と難治性口内炎)



Q: 昨今、DPP-4 阻害薬に起因する難治性口内炎が散見される。血糖降下薬を開始した患者に口腔内トラブル（長引く口内炎・痛み）が生じた場合は、速やかに歯科へ相談してほしい。対応として、一旦2週間の休薬を行い、改善が見られれば他剤への変更を検討していただきたいが、どうか。



A: 昨年の診療報酬改定で、糖尿病患者への「年1回の歯科受診推奨」が明文化されており、現在のスタンダードとなっている。引き続き医科歯科連携を進めていきたい。

2. GIP/GLP-1 受容体作動薬の効果減弱 (リバウンド) への対応

Q: GLP-1/GIP 製剤を長期 (24 ヶ月以上) 使用していると、体重や HbA1c が戻ってくる (効果が薄れる) 症例があるが、増量などの対策はどうすべきか。

A: 薬への慣れや効果減弱は確かに存在するため、以下のように対応している。

1. **状況確認:** 食事療法の緩みや、服薬方法 (特にリベルサス) の間違いがないか確認する。
2. **生活指導:** 薬で食欲が落ちていた感覚を思い出してもらい、薬だけに頼らず食事・運動習慣を見直すよう指導する。
3. **薬剤変更・増量:** それでも戻る場合は、薬剤の切り替え (リベルサス→オゼンピック→マンジャロ等) や、マンジャロの用量アップ (増量) を行う。現状では、増量しても効果が頭打ちになる場合は、次世代の薬を待つしかないケースもある。



病院理念
心かよう信頼と安心の病院

置賜広域病院企業団
公立置賜総合病院

〒992-0601
山形県東置賜郡川西町
大字西大塚 2000 番地
TEL : 0238-46-5000 (代表)

ホームページ :
www.okitama-hp.or.jp

医療連携・相談室 E-mail :
renkei@okitama-hp.or.jp

医療連携・相談室 1
(退院支援・精神科・連携部門)
FAX : 0238-46-5721

医療連携・相談室 2
(相談・入院部門)
FAX : 0238-46-5030

予約センター (直通)
TEL : 0238-46-5700
FAX : 0238-46-5722

がん相談支援センター活動報告

当院は、がん診療拠点病院になっており、がん相談支援センターを患者サポートセンター内に設置しております。

令和7年度は、普段のがん相談を受けるのみならず、「顔の見える関係を築きたい」思いから置賜地域の図書館を訪問しました。図書館への訪問を通じて各種イベントへ参加する機会をいただき、がん相談支援センターの広報活動を行ってきました。

8月「レモネードスタンド」
(長井市くるんど)



10月「一箱古本市」
(川西町立図書館)



11月「健康フェスタ」
(高島町立図書館)



来館された子どもさんに
ナチュラルウオーターネイル体験をしていただきました！
キラキラした手を見て、にっこりした笑顔が印象的でした。



さんさんサロン (がんサロン) について

令和8年度は左記の通り

3 のつく日に開催予定です

「がんを経験されている方の話を聞いてみたい」

「医師や看護師には相談しにくい悩みがある」

などありましたら遠慮なくご相談ください。

- ・ 参加は無料で予約も要りません。
- ・ 当日患者サポートセンターまでお越しください。

公立置賜総合病院

さんさんサロン のご案内



がん患者さんとご家族が不安や悩みを語り合う場です。
ピアサポーター（がんの経験者）と一緒に考えます。
お気軽にお越しください。

令和8年度 年間計画

5月13日	7月13日	9月3日	11月13日	令和9年 3月23日
(水)	(月)	(木)	(金)	(火)

時間 : 14時から 1時間くらい

場所 : 公立置賜総合病院 第4会議室
(患者サポートセンターに来ていただき
ご案内します)

内容 : がん体験者とのおしゃべり会
参加費 : 無料

予約不要です

お問い合わせ
公立置賜総合病院 がん相談支援センター
(患者サポートセンター内)
☎0238-46-5000 担当: 吉田 古山